

■七飯町・コンコード町 姉妹都市提携の経緯と交流内容

平成 4年 (1992年)	12月	北海道とマサチューセッツ州の知事同士で地域内市町間の交流拡大で合意を受け、北海道からコンコードの紹介を受ける。
平成 5年 (1993年)	10月	北海道のマサチューセッツ州訪問団に町長を含む12名が参加、コンコードをはじめて訪問。
平成 6年 (1994年)	6月	ソロー小学校より作品を受領し大沼小学校にて展示。
	8月	米マサチューセッツ州協会会長の講演会を七飯町で実施。
	10月	コンコードへ3名派遣。 ウィラード小学校から作品を受領し峠下小学校にて展示。
	12月	「コンコードと仲良くする会(CNN)」結成。
平成 7年 (1995年)	2月	コンコードより7名が七飯町を訪れる。(相互の訪問実現となる) 中学生同士の文通開始。
	10月	第1回目となる七飯町からの訪問団がコンコードへ。
平成 8年 (1996年)	2月	大沼函館雪と氷の祭典でコンコードパブリックライブラリーをメイン雪像として制作。
	5月	中学生同士の文通が74組まで拡大。
	6月	コンコードから学生2名が来訪。
	10月	CNNメンバーの5名がコンコード訪問。 第2回目の訪問団がコンコードへ。
平成 9年 (1997年)	3月	コンコードのホームページと七飯町のホームページがリンクされる。
	4月	七飯中学校のホームページ完成、コンコードの中学校とリンク。
	5月	コンコードタウンミーティングにて、七飯町との姉妹都市提携議案可決。
	6月	七飯町議会にてコンコードとの姉妹都市提携議案可決、 コンコードから日本語を学ぶ学生2名が来訪。(2ヶ月滞在)
	10月	コンコードから高校教諭と中学教諭の2名来訪、 第3回目の訪問団がコンコードへ。
	11月	七飯町にて姉妹都市提携調印式。
平成10年 (1998年)	4月	コンコード・カーライル高校スクールバンドメンバー等79名来町。 (合同演奏会と近隣高校生との日米環境問題討論会開催)
	8月	コンコードより初代国際交流員キャサリン・バンデバーさんが着任。
	10月	第4回目の訪問団がコンコードへ。
平成11年 (1999年)	8月	国際交流員キャサリン・バンデバーさんが退任。 第2代国際交流員モニカ・テリーさんが着任。
	10月	第5回目の訪問団が大沼小学校の作品を持参しコンコードへ。 国際交流員モニカ・テリーさんのご両親が来町。
平成12年 (2000年)	2月	大沼雪と氷の祭典でミニットマン像を作製。
	9月	北海道マサチューセッツ州姉妹提携10周年記念事業による訪問団員に七飯町から4名が参加しコンコードを訪問。
	10月	第6回目の訪問団が大沼小学校の作品を持参しコンコードへ。
平成13年 (2001年)	2月	マサチューセッツ州北海道訪問団員にコンコード元セレクトマン議長と町民2名が同行し、七飯町を訪問。 大沼雪と氷の祭典でミニットマン像を作製。
	5月	後に第3代国際交流員となるエミリー・ファーローさん七飯町事前視察。 国際交流員モニカ・テリーさんが退任。
	7月	コンコードより高校教諭3名と中学校教諭1名来訪。
	10月	9月のテロ事件(9.11)の影響でコンコード訪問中止。 コンコードより町民2名が七飯町を訪問。
	12月	後に第4代国際交流員となる、バートン・ベイツさんとその家族が七飯町を訪れる。
	平成14年 (2002年)	1月
4月	コンコード教育委員が親子で来訪し中学校にてコンコードの学校の様子をビデオで紹介。	
5月	第7回目の訪問団がコンコードへ。	
10月	第8回目の訪問団がコンコードへ。 町長・議長を含む姉妹都市提携5周年記念訪問団がコンコードを訪問し、 姉妹提携を5年間更新することで調印。	
平成15年 (2003年)	4月	イラク情勢、SARS等の影響でコンコードからの来訪中止。
	7月	国際交流員エミリー・ファーローさんの家族が来町。
	10月	第9回目の訪問団がコンコードへ。
平成16年 (2004年)	4月	コンコード・カーライル高校スクールバンドメンバー等93名来町。 七飯中学校、七飯高校との合同演奏会開催。
	8月	国際交流員エミリー・ファーローさんが退任。 第10回目の訪問団がコンコードへ。
	10月	一般公募により選ばれた町民代表がコンコードにてそば打ち、茶道などを通し交流を深める。

		第4代国際交流員バートン・ベイツさんが着任。
平成17年 (2005年)	2月	国際交流員バートン・ベイツさんのご両親が来町。 コンコードのウィラード小学校から預かってきた手紙などを、姉妹校である東大沼、峠下小学校へ手渡す。
	6月	コンコード教員グループ11名が来町、姉妹小学校3校での特別授業や中学校、高校でも授業をするなど学校交流を広めた。
	10月	第11回目の訪問団がコンコードへ。
平成18年 (2006年)	2月	国際交流員バートン・ベイツさんが退任。
	7月	コンコード教員グループ11名が来町、姉妹校の峠下小学校、七飯高校で特別授業をした。また、大沼小学校や大中山保育所を訪問し交流した。
	10月	第12回目の訪問団がコンコードへ。 一般公募により選ばれた町民代表3名がコンコードにて日本舞踊、合気道やいか踊りを披露し、文化交流を深める。 第5代国際交流員ウィットニー・ウォレンさん着任。
平成19年 (2007年)		姉妹都市提携10周年を迎える。姉妹都市提携を5年間更新することで調印。
	4月	コンコード・カーライル高校スクールバンドメンバー等105名来町、七飯中学校、七飯高校との合同演奏会開催。 地球温暖化防止をテーマに「みなみ北海道青少年環境国際会議」開催、役場庁舎屋上にシンボルとして小型風力発電機を設置、記念植樹、テープカット式が行われた。
	10月	第13回目の訪問団がコンコードへ。 農業の若手後継者3名が生産者や関係者と農業の実情や農業経営について意見交換を行った。
平成20年 (2008年)	12月	「みなみ北海道青少年環境国際会議」で両町の交流と環境対策のシンボルとして設置した小型風力発電機の電力を用いたクリスマスツリーと役場庁舎のイルミネーション点灯式を七飯高校生や一般町民など約100名の参加により行った。
	6月	コンコード教員グループ8名が来町、渡島大沼湖上高校生環境保全サミット、未来大学、恵山など視察、七飯高校を訪問し交流した。
	10月	第14回目の訪問団がコンコードへ。 企業の若手後継者3名が米国の経営事情や日本との類似点、違いなど、直接企業の経営者などと意見交換を行った。 国際交流員ウィットニー・ウォレンさんが退任。 第6代国際交流員ボビー・カーグラさんが着任。
平成21年 (2009年)	12月	両町の交流と環境対策のシンボルとして設置した小型風力発電機の電力を用いたクリスマスツリーと役場庁舎のイルミネーション第2回点灯式を七飯高校生や一般町民の参加により行った。 また、両町の交流をより身近に感じていただくため、コンコード・カーライル高校によるクリスマスコンサートを生中継で初めて放映。 七飯高校生や一般町民約40名が参加し鑑賞会を行った。
	4月	コンコード・カーライル高校サイファイクラブ生徒ら22名が来町し、七飯高校での交流や日本文化を体験する。
	6月	コンコード教員グループ6名が来町、来年度の合同演奏会の事前打合せや小学校などを訪問し交流を深める。
平成22年 (2010年)	10月	第15回目の訪問団コンコードへ。 農業の若手後継者3名が米国の農業事情や日本との類似点、違いなど、直接農業経営者などと意見交換を行った。
	12月	両町の交流と環境対策のシンボルとして設置した小型風力発電機の電力を用いたクリスマスツリーと役場庁舎のイルミネーション第3回点灯式を七飯高校生や一般町民の参加により行った。 また、大沼小学校の生徒とコンコード・ソロー小学校の生徒がインターネットを通じて英語で交流。お互い自己紹介をしたあと両校校歌を披露しリアルタイムでの交流を行った。
	4月	コンコード・カーライル高校スクールバンドメンバー等101名来町、七飯中学校、大中山中学校、七飯高校との合同演奏会を開催。 コンコードカーライル高校と七飯高等学校の姉妹校提携調印式を行った。 地球温暖化防止の意識向上のため、両校の生徒同士により大沼森林公園にてミズナラの植樹を行った。
平成23年	6月	コンコード教員グループ6名が来町、今後の学校間交流を広げ活発にしていくための事前打合せや、小学校などを訪問し交流を深める。
	9月	国際交流員ボビー・カーグラさんが退任。
	10月	第16回目の訪問団コンコードへ。 企業の若手後継者3名が米国の経営事情や日本との類似点、違いなど、直接企業経営者などと意見交換を行った。
	12月	第7代国際交流員ベン・ミリンさんが着任。
平成23年	6月	国際交流員ベン・ミリンさん家族来町。

(2011年)	7月	コンコードより初代外国語指導助手ベン・ヘイドックさんが着任。
	9月	第17回目の訪問団コンコードへ。 町の国際交流に貢献されている方3名を派遣し交流を深める。 また、昨年4月に七飯高校とコンコード・カーライル高校が姉妹校提携したことを記念し、七飯高校姉妹校交流訪問団として総勢59名が一緒に訪問。ホームステイやコンコード・カーライル高校コンサートバンドとの合同演奏会や地元小学校及び高校生へのコンサートを4回開催。また、地元高校生と一緒に授業や部活動に参加するなど高校生同士の交流を深める。 総勢73名での訪問は姉妹都市提携を結んで以来、最大数の訪問となる。
平成24年 (2012年)	4月	コンコード・カーライル高校サイファイクラブなど29名が来町。生徒全員がホームステイをし、日本の家庭を体験。七飯高校での交流授業や茶道、着付け体験など日本文化を体験し町民と交流を深める。
	6月	外国人指導助手ベン・ヘイドックさんのご家族が来町。
	8月	国際交流員ベン・ミリンさんが退任。
	10月	第18回目の訪問団コンコードへ。また、姉妹都市提携15周年記念式典(再調印)をコンコードで実施。町長、議長ら7名がコンコードを訪問。第8代国際交流員ニック・ファーバートさんが着任。
平成25年 (2013年)	4月	国際交流員ニック・ファーバートさんが退任。
	5月	コンコード町民2名来町。
	7月	外国語指導助手ベン・ヘイドックさんが退任。
	8月	コンコード町民2名来町。来年のコンコードカーライル高校生徒ら来町に係る打合せを兼ね、町民と交流する。 第2代外国語指導助手マクレーン・シュープさんが着任。
	9月	第9代国際交流員ベン・ヘイドックさんが着任。
	10月	第19回目の訪問団コンコードへ。 また、町民代表として消防団員など3名が消防署や農場等視察し、現地の方と意見交換をした。また、引率教員においては、現地小学校にて日本の年中行事を紹介する授業を行い交流を深めた。
平成26年 (2014年)	4月	コンコードカーライル高校サイファイクラブなど25名が来町。生徒全員がホームステイをし、日本の家庭を体験。七飯高校での交流授業や茶道、着付け体験など日本文化を体験し町民と交流を深める。
	8月	国際交流員ベン・ヘイドックさんのご家族が来町。
	9月	国際交流員ベン・ヘイドックさんが退任。
	10月	第20回目の訪問団コンコードへ。 また、町民代表として企業の若手後継者2名が米国の経営事情や日本との類似点、違いなど、直接企業の経営者などと意見交換を行った。 第10代国際交流員クリス・ハウエルさんが着任。
平成27年 (2015年)	6月	コンコード町よりセレクトマン(議員)4名を含む21名が来町。ホームステイをし、日本の家庭を体験。大沼国際セミナーハウスで両町の農業をテーマに姉妹都市国際会議を開催した。また、町内の公共施設の視察やポットラックパーティーにて町民と交流を深める。
	7月	外国語指導助手マクレーン・シュープさんが退任。同月にご両親が来町。 第3代外国語指導助手ベン・リーさんが着任。 国際交流員クリス・ハウエルさんのご両親が来町。
	10月	第21回目の訪問団コンコードへ。 また、町民代表として農業の若手後継者3名が米国の農業や直売所等を視察し、日本との類似点、違いなど、直接農家などと意見交換を行った。 また、引率教員においては、現地高校にて授業を行い交流を深めた。
平成28年 (2016年)	4月	コンコードカーライル高校サイファイクラブなど35名が来町。生徒全員がホームステイをし、日本の家庭を体験。七飯高校での交流授業や茶道、着付け体験など日本文化を体験し町民と交流を深める。
	6月	外国語指導助手ベン・リーさんのご両親が来町。
	8月	外国語指導助手ベン・リーさんが退任。 第4代外国語指導助手アナ・ペティジョンさんが着任。
	10月	第22回目の訪問団コンコードへ。 また、町民代表として町の国際交流事業のホストファミリー経験者3名が現地の町民と交流、また日本との文化・習慣の類似点、違いなどを、直接意見交換した。 また、引率教員においては、現地高校にて日本の俳句などを紹介する授業を行い交流を深めた。 国際交流員クリス・ハウエルさんが退任。
	11月	第11代国際交流員アンドリュー・クルーバさんが着任。

※平成29年度は、七飯町とコンコード町が姉妹都市提携20周年を迎える。
これにあたり、20周年記念式典を七飯町で開催予定。